

SDGs活動で 一步を踏み出す

諏訪学校長会で林さん(太陽工業)講話

諏訪地方の小中学校、高校、特別支援学校の校長でつくる諏訪学校長会は24日、茅野市永明小学校永明中学校で開いた。各校の校長57人が参加。太陽工業(諏訪市)経営



SDGsの取り組みについて講話する太陽工業の林道明部長(左)

林さんは、将来の予測が困難な状態を意味するVUCA(ブーカ)の時代には「とりあえず一步を踏み出さないと新しい領域は開けない」と指摘。一步を踏み出すための方法の一つがSDGs(持続可能な開発目標)だとし、SDGsを重視する企業に投資する動きが進んでいることから、企業のSDGs活動と営利活動の両立が可能になったと解説した。

SDGsの活用により企業イメージの向上や社会課題への対応、新たな事業機会の創出などにつながると説明。同社が進めるSDGsの取り組みとして、社内認定試験を行っているほか、社員からアイデアを募集して実現した子ども食堂や諏訪湖のヒシ取り、ボート部創部などの活動を紹介した。活動に関わった社員には変化が見られたとし「SDGsの取り組みがあれば一步を踏み出せる。その仕組みをつかったことで、主体的に課題に取り組む人材を育てることになった」と成果を強調していた。(宮沢知史)